

目標設定者としての目標の探し方・表し方

対象者：一次・二次評価者

	内 容	詳細、得たい成果
9:00	1.目標管理の目指すもの 1) 企業と自治体のミッションの相違 2) 自治体の目標管理の難しいわけ 3) 自治体における新しい発想	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政の世界でも目標管理というマネジメント手法が普及始めたが、まだ有効な成果を発揮するには至らない状態である。企業と自治体の目標管理の差異を見ながら自治体でも効果的な運用ができる方向を探求する。
	2.目標の探し方、見つけ方 1) 上位方針・上位目標の咀嚼 2) 平素の問題意識から 3) 担当職務のミッションの分解 ～目標はひらめかない～	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標管理の難しさの頂点に「目標」の設定があり、適切な目標設定ができれば目標管理は半ば成功といえる。目標の探し方、見つけ方を組織の具体的状況から抽出する方法を研究する。
12:00	3.「見える化」の取り組み方 1) 様々な場面の「見える化」 2) 『見えること』で問題が見える 3) 現状把握が「目標」を示す 4) 来年の目標設定は今年に探す	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に、取り巻く職場環境から状況の『見える化』を図ったとき、そこに潜む課題が明確になり、その課題解決に取り組むことが目標となり、目標値も具体的に設定できることを学習する。
13:00	＊「見える化」事例紹介 4.「見える化」実習 - 1 【ステップ1】 担当職務の現状把握 【ステップ2】 ある現象をグラフで表示 【ステップ3】 担当職務の課題抽出 【ステップ4】 担当職務の目標設定 【ステップ5】 問題解決方法の構成	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務における『見える化』事例の紹介 『見える化』実習〔グループ内個人作業〕 提供された実習用の情報に対し、まず数値化を図り、つぎのステップではグラフ化を図る。そこから問題をクローズアップし、改善・解決に向けた目標及び目標値を明らかにする。そして、そのための具体的方策を絞り込む。
	5.「見える化」実習 - 2 ～見える化を活用した目標さがし～ 【ステップ1】 「見える化」が可能な職務のリストアップ 【ステップ2】 「見える化」を図る職務の選定 【ステップ3】 選定職務の現状把握 【ステップ4】 目標設定と達成方法の設定 【ステップ5】 グループ内成果発表	<ul style="list-style-type: none"> ● 『見える化』実習〔グループ内個人作業〕 担当職務のうち、トラブル発生職務、もしもの時の代行依頼職務、効率化など改善を図りたい職務、プロセスを明確にしたい職務等のリストアップ【事前準備】。 リストから『見える化』を図りたい職務を選択し、現状のプロセス、仕組みなどを具体化し、その作業を通じて「見える化」を目指す。 可視化された状態から目標と達成方策を具体化する。
16:30	6.目標設定への指針 1) 成否五分五分がやり甲斐であり、成長の階段となる 2) 挑戦こそが未来を築く	<ul style="list-style-type: none"> ● 活きた目標管理へのメッセージ